

多様性あふれる企業として 国籍に関係なく、活躍の場を提供

情報通信業

株式会社 ダンデライオンズ

従業員数／21名(うち外国人材6名)

所 在 地／名古屋市中区栄3-18-1

H P／<https://dandelions.co.jp/>

資 本 金／300万円



外国人材の採用を考え始めたきっかけ

弊社では多様性を”当たり前”として、外国人材の採用も特別なことではなく当然のこととして考え、ダイバーシティ経営を行っています。3年前ほど前から外国人材が在籍しています。

採用ルート

ハローワークの求人活用、インターンシップ事業、学校側への声かけなど

支援メニュー



④ 異文化コミュニケーション研修
10P



⑦ 日本人社員向け「伝わる日本語」研修
10P



⑧ 中級・上級レベルのビジネス日本語教室
30P

外国人材の業務内容

ウェブサイト多言語翻訳およびシステム開発

支援前の課題



- ・在留資格について行政書士に詳しく聞きたい
- ・外国人材の採用・選考フローにおける注意点を知りたい
- ・外国人材の受け入れまでに準備すべきことを知りたい



- ・採用に至ったが、長く続かない
- ・メンターを通じ、抱えている悩みや要望をヒアリングしたい
- ・仕事に関してどう接すればよいかわからない



- ・外国人材に関する自社での社内研修や環境の充実化を行い、整備したい
- ・外国人社員のための自社メンターを配置したい



外国人材の日本語の能力、勉強意欲も高く、コミュニケーションにおけるギャップは少なかったのですが、日本人側の歩み寄りはどうか?と、外国人材のために企業として、もっとできることはないか?と情報収集をしていました。

専門家による支援と企業の取り組み内容

○日本語能力のレベルアップと学習意欲の向上

在籍している高度外国人材の外国籍社員の日本語能力は既に高いのですが、社外とのコミュニケーションを含め、よりレベルの高いビジネスシーンでの日本語能力向上を目標に、ビジネス日本語研修を利用しました。レッスンでは、ビジネスシーンにおけるロールプレイや聴読解問題を含む研修を実施いただきました。本人達の日本語能力及び更なる学習意欲向上の機会となりました。

○日本人側の歩み寄り、異文化理解の必要性

日本人社員向けの「伝わる日本語」研修や異文化コミュニケーション研修を受講してみて、日本人同士の会話には日本人特有の表現、慣用句が多いという新たな気づきがありました。また、外国籍社員とも一緒に受講することで意見交換をしながら効果的に学ぶことができました。外国籍社員との業務上関わりがない日本人社員も含め、社内全体に異文化理解を深める機会になり、研修後の社員を見ていても、早速学んだことを意識しコミュニケーションを取っていると感じる変化が感じられました。

○ダイバーシティ企業として

外国籍社員がいることで、結果的に企業にとってもプラスになっている部分が多いと感じています。業務上のメリットとして、自社商材を外国語で翻訳できるなどがありますが、それだけでなく、外国籍社員の母国の話を聞き、違った価値観について知るなど、刺激を受けています。企業としても、異文化からくる相違や、理解を深めることが更に必要であると考えています。

外国人材の方からの声

これまで受講したことのある日本語能力試験(JLPT)と違い、初めて「ビジネス日本語能力テスト(BJT)」の存在を知りました。レッスンではロールプレイもあり、毎日仕事で使用している以外のビジネスシーンを想定した新しい日本語の練習ができ、勉強になりました。



企業からの一言(代表者もしくは人事担当者)



今後は本事業で得たことを通してお互いの文化の相違点や企業としての理解を深めつつ、そこを上手く伝えていくようにしていかなくては、と感じています。自走化・継続に向けてどう取り組んでいくかを課題とし、更なるダイバーシティ促進に向けて取り組んでいきたいと思います。